

◎小学校及び中学校の給食費について

1 横須賀市学校給食運営審議会への諮問

給食費の決定は、横須賀市給食条例において、学校給食運営審議会の審議を経て市長が規則で定めることと規定されている。

平成30年度に、原材料費の価格高騰に伴う栄養価の不足を是正するため、小学校給食費を改定したが、改定後の栄養価の状況について、あらためて検証していただいた。

また、令和3年の夏季休業明けに開始を予定している中学校給食に向けた給食費の設定についても、栄養バランスや他市の設定価格、物価上昇などを考慮しながら、ご審議いただいた。

2 審議会の答申

小学校：平成30年度改定から据え置き

中学校：1食単価330円 月額5,400円

(円)

区分	基準回数	1食単価	月額	年額	値上がり額
①小学校児童	190	260	4,500	49,500	0
②ろう学校児童	190	260	4,500	49,500	0
③ろう学校生徒 (中学校・高等学校)	190	310	5,300	58,300	0
④ろう学校幼児	190	210	3,600	39,600	0
⑤養護学校児童生徒	181	270	4,500	49,500	0
⑥教職員 (養護学校・中学校以外)	190	310	5,300	58,300	0
⑦養護学校教職員	181	320	5,300	58,300	0
⑧中学校生徒教職員※	(1・2年生) (教職員) 180	330	5,400	59,400	—
	(3年生) 163			54,000	—

※3年生は3月の登校日が少ないため、基準回数を減らし3月分の徴収を行わない。

(参考) 現行の中学校ミルク費

(円)

区分	基準回数	1食単価	月額	年額
⑧中学校生徒教職員	145	53	700	7,700

3 審議会の答申要旨

- ・小学校給食費については、平成30年4月の給食費改定から2年が経過し、あらためて、給食費改定後の栄養価について検証した結果、概ね、国基準や県平均の給食栄養価を上回っていることが確認されたため、現状の給食費を据え置くことが妥当であると判断した。
- ・令和3年度の中学校給食開始に伴う給食費の設定については、平成30年度の小学校給食費の改定に関する答申で示したとおり、給食から摂取できる栄養価を、少なくとも県の平均以上に、できる限り学校給食実施基準(国の基準)まで高めるという考えに基づき検討した。
- ・県内他市町村の給食費や、昨今の全国的な給食費の改定状況、物価傾向、保護者の経済負担など様々な角度から審議を行った。
- ・中学校の場合、1・2年生と3年生とでは給食提供回数が異なるため、給食費についても、異なる額を設定する。(1・2年生は180回、3年生は163回の提供を想定する)
- ・中学校給食開始にあたり、想定される課題を抽出し、教職員や保護者と連携しながら、解決策を講ずること。

4 中学校給食費について

(1) 想定献立

1	わかめごはん 牛乳 けんちん汁 揚げじゃがいものそぼろ煮 ごまみそあえ
2	チャーハン 牛乳 春雨スープ 肉団子 ナムル
3	麦ごはん 牛乳 みそワントン とり肉のてり煮 中華風おひたし
4	麦ごはん 牛乳 呉汁 あじのかば焼き ごま入りおひたし
5	ソフトフランス 牛乳 マカロニのクリーム煮 ごまドレッシングサラダ ゼリー
6	カレーライス 牛乳 浅漬け
7	豚丼 牛乳 みそ汁 いそあえ
8	スパゲッティミートソース 牛乳 じゃがいもと大豆のスパイシー揚げ チーズ
9	マーボー生揚げ丼 牛乳 吉野汁 わかめサラダ
10	チキンピラフ 牛乳 白菜のクリームシチュー しいらとじゃがいものから揚げ

※ 20 日分作成し、主な 10 日分を記載している。

(2) 栄養価

	想定献立 平均栄養価	県平均 (H28～H30)	国基準 (H31～)
エネルギー(kcal)	830	832	830
たんぱく質比(%)	16.0%		13%～20%
(g)	33.4	32.5	
脂質比(%)	23.3%	26.6%	20%～30%
食塩相当量(g)	2.8	2.9	2.5 未満
カルシウム(mg)	418	356	450
マグネシウム(mg)	111	108	120
鉄(mg)	4.3	3.1	4.0
亜鉛(mg)	4.2	3.8	3.0
ビタミンA(μgRAE)	303	336	300
ビタミンB ₁ (mg)	1.23	0.56	0.50
ビタミンB ₂ (mg)	0.63	0.60	0.60
ビタミンC(mg)	37	36	30
食物繊維(g)	6.2	5.2	6.5 以上

※ 想定献立栄養価は、20 日分の平均値

(3) 他市町村の中学校給食費の状況

①県内の中学校給食を実施している主な市町村

(円)

設置者	中学校			備考
	月額 (円)	1食平均 単価 (円)	令和元年度 実施予定回数	
川崎市	4,733	320	162	
藤沢市	5,400	330	180	
厚木市	4,113	290	156	
海老名市	4,677	278	185	
鎌倉市	5,387	329	180	
逗子市	5,596	324	190	

参考：令和元年度神奈川県内の学校給食実施状況（神奈川県／令和元年5月1日現在）

注1：月額とは、年間徴収予定額を11で除したものを示す。

注2：1食平均単価とは、年間徴収予定額を実施予定回数で除したものを示す。

②平成31年～令和2年に中学校給食費の改定を行った全国の主な市町村 (1食単価300円以上)

(円)

設置者	改定後			改定時期
	月額 (円)	1食平均 単価 (円)	改定額 単価 (円)	
渋谷区 (東京都)	5,746	338	+14	平成31年
中野区 (東京都)	6,102	339	+17	令和2年
三鷹市 (東京都)	6,000	330	+11	令和2年
北九州市 (福岡県)	5,400	310	+22	令和2年
仙台市 (宮城県)	5,645	345	+55	令和2年

(4) 物価変動による給食費への影響

過去5年間の消費者物価指数動向によると、概ね3年間は単価 330 円で栄養価を維持できるが、その後は物価動向により改定の検討が必要だと考えられる。

①消費者物価指数の動向

年度	指数(※)	【直近3年】変動率 (H29～H31)	【直近5年】変動率 (H27～H31)
平成 31 年度	103.3	↑ 0.7%	↑ 3.3%
平成 30 年度	102.4		
平成 29 年度	102.6		
平成 28 年度	101.0		
平成 27 年度	100.0		

※総務省統計局で公表している 2015 年（平成 27 年）基準消費者物価指数のうち、横浜市の「穀類」「生鮮魚介」「肉類」「乳卵類」「生鮮野菜」「油脂・調味料」の平均指数

②1食単価予想（栄養価を維持する場合）

年度	1食単価	上昇率
令和3年度(想定献立単価)	328 円	—
令和5年度(3年後)	330 円	100.7%
令和7年度(5年後)	339 円	103.3%

5 今後の予定

時期	内容
令和3年4月以降	- 給食条例施行規則の公布及び施行 - 給食条例の一部の施行期日を定める規則の公布及び施行 - 保護者等へ給食費の周知
令和3年夏季休業明け	中学校の給食開始

【参考資料１】給食費の検討経過

日付	会議等	内容
令和２年８月１９日	横須賀市学校給食運営審議会 第１回会議	・小学校・中学校給食費に関する諮問、審議
令和２年１２月１１日	横須賀市学校給食運営審議会 第２回会議	・小学校・中学校給食費に関する審議 ・答申の決定
令和２年１２月２３日	横須賀市学校給食運営審議会答申	委員長から教育長に答申

【参考資料２】横須賀市学校給食運営審議会委員

	区分	役職等	氏名	備考
1	学識経験者	神奈川県立 保健福祉大学教授	鈴木 志保子	委員長
2	保護者	大津中学校保護者	赤羽根 丈行	
3	保護者	田浦中学校保護者	桜井 健	
4	学校教育関係者	栗田小学校校長	金子 美夕貴	
5	学校教育関係者	追浜中学校校長	前島 光	副委員長
6	学校教育関係者	鴨居小学校総括教諭	東 健志	
7	学校教育関係者	公郷小学校教諭	川上 倫世	
8	学校教育関係者	大楠小学校栄養教諭	金井 康子	
9	学校教育関係者	逸見小学校栄養教諭	黒田 真由美	
10	市職員	健康部 保健所生活衛生課長	石川 智美	
11	市職員	汐入小学校 学校給食調理員	河合 泉	
12	市職員	田戸小学校 学校給食調理員	八木橋 由佳	